

フィールドの編集

使い方 **スマート変数** **パイプ(データ値の代入)**
フィールド埋め込み

入力値の制限 (任意)

最小:
最大:

最小/最大制限のためのヒント。日付/時刻フィールドには、today または now という言葉 (引用符で囲まない) を使って、動的な範囲制限を設定することができます。また、他のフィールドから値をパイプすることもできます - 例えば、[visit_date] や [event_1_arm_1][age] などです。

入力必須にしますか? * いいえ はい
*フィールドが空白の場合はプロンプト

個人識別情報ですか? いいえ はい
フィールドには、個人を特定可能な情報(例えば、名前、SSN、アドレス)を含んでいますか?

配置
ページ上のフィールドの位置を合わせる

フィールドノート (任意)
フィールドの下に表示される小さなリマインダーテキスト

アクションタグ / フィールド注釈 (任意)

次について学ぶ [@アクションタグ](#) または [フィールド注釈を使用する](#)



レコード作成/編集
データの新規作成または編集
データ収集フォームを表示

フィールドの編集

アクションタグ / フィールド注釈
@HIDEBUTTON
次について学ぶ @アクションタグ

ロジックエディタ

下のテキストボックスを使って、ロジック、計算、アクションタグなどを構成してください。スペースが必要な場合は、「Fullscreen Mode」ボタンをクリックすると、テキストボックスが拡大されます。作業が終わったら、「Update」ボタンをクリックして、エディターウィンドウを最小化します。

使用方法を学ぶ スマート変数 特殊な関数 @アクションタグ or open the コードブック

@HIDEBUTTON|

編集画面で、
@HIDEBUTTON と
入力

フルスクリーンモード

エディタの更新と終了

キャンセル

<< 前のフォーム

データ値の代入

例フィールドには、today または now
動的な範囲制限を設定することができ
ます。また、動的な範囲制限を設定する
こともできます - 例えは、
today などです。

はい

はい
はい、名前、SSN、アドレスを含んでい

データテキスト

保存 キャンセル

今日ボタンが
消えている

変数名: mng_response_date

回答日

@HIDEBUTTON

Y-M-D